

# NAVIGATION

— 進路指導部便り — 第8号

2019年11月7日

72 回生センター試験まであと72日

発行 夢野台高等学校  
進路指導部

## 特集 大学入試改革 その5

### ～英語民間試験導入見送りとその余波～

前号で英語民間試験について説明しましたが、みなさんご存じの通り、来年度からの実施は見送られることになりました。これに伴い、共通IDの発行も中止になります。一「(前略)大変残念ですが、英語教育充実のために導入を予定してきた英語民間試験を、経済的な状況や居住している地域にかかわらず、等しく安心して受けられるようにするためには、更なる時間が必要だと判断するに至りました。大学入試における新たな英語試験については、新学習指導要領が適用される令和6年度に実施する試験から導入することとし、今後一年を目途に検討し、結論を出すこととします(後略)。」一

(令和元年11月1日 文部科学大臣 萩生田光一)

かねてより受験機会の公平さや異なる試験の評価の問題など、様々な課題が指摘されていましたが、共通ID申請開始の初日に延期が決定されました。

ただし、この決定に伴ってまず注意しなければならないのは、大学入学共通テストの英語です。現行の大学入試センター試験と来年度から実施される大学入学共通テストの英語を比較した下表を見てください。

大学入試センター試験	配点		大学入学共通テスト	配点
筆記	200点	→	リーディング	100点
発音、アクセント、語句整序などの単独問題あり。			発音、アクセント、語句整序などの単独問題なし。	
リスニング	50点		リスニング	100点
読み上げられる音声はすべて2回読み。			読み上げられる音声は、1回読みと2回読みが混在。	

ただし、この変更は、民間試験導入を前提としたものであり、その前提が崩れた以上、さらなる変更の可能性があります。「発音、アクセント、語句整序の単独問題」は出題されるのか、配点を元に戻すのかなどが検討の対象になるでしょう。

また、多くの国公立大学が民間試験を出願条件とする、あるいはその結果を点数化して加点するなどとしていましたが、今後どうするのかについても各大学からの発表を注視していく必要があります。

私立大学では、以前から民間試験を活用する入試がありましたが、これについても各大学のホームページ等による情報収集が欠かせません。

以上のように、延期に伴って、当面の入試の具体像は不透明化してしまいました。今後発表される様々な変更に対応できる普遍的な学力をつけられるよう、日々の学習活動に組み込まなければなりません。

\*大学入学共通テストの国語と数学の記述式出題に関しては変更なしの予定です。

## 73 回生 大学体験 振り返りのまとめ

73 回生(2年生)は、大学体験として、神戸大学、兵庫県立大学、神戸市外国語大学、神戸市看護大学、関西学院大学、関西大学、甲南大学、武庫川女子大学、神戸学院大学の計9大学を訪問しました。大学・学部説明、模擬授業、施設見学、学食体験等のプログラムを通して、大学での学びや生活を体験しました。ここでは、その振り返りの中から抜粋して紹介します。

●見学した授業は貧困への支援に関する討論で、課題は、その支援が自己利益に結び付く範囲での行動に限定されないか、というものでした。8人程度での討論だったのですが、それぞれが自分から意見を発信しているのが印象的でした。また、所属している学部によって課題に対するアプローチも違っていて、学部の雰囲気が少しわかって興味深く感じました。(神戸大学)

●英語と数学が2次試験で1:1の割合であるので、文系だからといって手を抜いてはダメだと思いました。また、今までの大学見学ではグローバルビジネスコースには少し興味があるぐらいでしたが、今回実際に留学生がいる雰囲気を感じて、かなり大変だろうとは思いつつも、強く惹かれました。近々学園祭もあるようなので、それも行って学生の雰囲気やサークルの様子を見ることができたらと思います。(兵庫県立大学)

●今回志望校を見ることができたので、勉強に対するモチベーションが上がりました。行きたい、という気持ちが強まったので、まずはこれからの学習をがんばっていきましょう。また、市看は学が環境のクオリティが高いと感じたので、今から学ぶことに対する意欲を高められるようにしたいと思います。(神戸市看護大学)

●教育学部の2年生の方が「大学生の生活は人生最高の財産」と言った言葉が最も印象に残った。私の将来にとって、大学生活が最高のものになるために、今、多くの大学を調べたり、オープンキャンパスに行き自分が本当に行きたい大学を見つけたりしながら、志望校に合格するために勉強したいと思った。（関西学院大学）

●実際に大学に行き、概要説明を聞いて関西大学がどのような大学なのか、どのようなことが学べるのかを詳しく知ることができたから、これから本格的に進路を考えていく中で役に立ったと思う。また、キャンパスツアーで在学生のお話を聞いたことで、調べてもなかなか出てこないサークルの情報や実際の大学生活について細かく知ることができ、イメージがしやすくなったので、「行ってみたい」という気持ちが強くなり、勉強をがんばろうと思った。（関西大学）

●今回の体験で、生物学に対しての興味がより一層深まりました。具体的な進路はまだわかりませんが、理工学部の中の生物学科の先生のお話や講義はとてもおもしろくて、こういった分野を専門的に学んでみたいと思い、将来は生物系に進もうかなと漠然ではありますが決まったように思います。今後の高校生活において勉強する科目、またどういった学力や知識が必要かなどが具体的にわかったので、大学を決める際の参考にしたいと思います。（甲南大学）

●教育学部の説明の中で、二つのことが印象に残りました。一つ目は「今、高校のうちに身につけられることは身につける！」ということです。教師になるために必要なテストは高校生のうちに学べる内容がすべてだと聞き、今のうちに学べることはしっかり学んで身につけることが必要だと思いました。二つ目は「クラブ活動や学習などで子どもたちに伝えられることを持っておく！」ということです。教師は生徒に話し伝えることが大切だと思うので、自分の体験を話す機会がたくさんあります。また自分の体験をふまえて子どもたちの気持ちも理解できるようになると思うので、積極的に様々なことに参加することが大切だと感じました。（武庫川女子大学）

●一番印象に残ったことは模擬授業だ。私は将来の夢は薬剤師になることだ。薬剤師の免許を持っている方から、薬を作る仕事に就くための心構えや大切にしていることなどを聞いて勉強になった。6年間学ぶことの理由も授業を通してよく理解できたし、人の命に深くかかわる仕事だから責任をもってしっかりと勉強しないとイケないのだと感じた。（神戸学院大学）

●薬剤師をはじめとする「人の命」に関わる仕事をする人の責任と大変さを学びました。それがよくわかったのは、岡本教授による模擬講義です。教授は授業見学で「授業を聞かないということは、知識を学び取らないことになります。学び取らなかったために患者を殺すということがあるかもしれない。だから授業はしっかり受けてください。」と言われました。この言葉から人の命に関わる仕事の責任と大変さを学びました。今受けている授業が将来誰かを助けることのできる力をつけていく大切なものだとなりました。（神戸学院大学）



大学体験での  
ひとコマ



#### 関西学院大学 二〇一九年度 入学試験問題集 配布！

関西学院大学から、入学試験問題集が届いています。これは関西学院大学入試課オリジナルの問題集で、各問題の正解や配点のほか、講評や実際の入試における得点率や平均点も掲載されています。先着順で20冊を配布しますので、希望する人は進路指導部の先生に声をかけてください。

#### 京都産業大学 一般入試講座

左記の講座が開かれます。希望する人は問合せをしてください。

日時：12月21日（土）13:00～16:30

会場：三宮研修センター

問合せ先：京都産業大学入学センター

☎ 075-705-1437

\*他にも、大阪会場、京都会場などがあります。